

## 社員総会議事録

1. 招集年月日 令和2年11月21日
1. 開催場所 兵庫県伊丹市下河原二丁目2番13号
1. 開催日時 令和2年11月21日 19時15分
1. 社員数 10名
1. 出席した社員数 10名
- |    |       |    |
|----|-------|----|
| 内訳 | 本人出席  | 4名 |
|    | 委任状出席 | 6名 |

### 1. 議長選任の経過

定刻に至り事務局より本日の社員総会は定款所定数を満たしたので有効に成立した旨が報告されたので理事長吉永和正は開会を宣し、議長の選任をはかったところ、互選により吉永和正が議長に選任された。続いて議長から、議事録署名人を指名したい旨を述べたところ、次の者を議事録署名人に指名し承認された。

|        |         |        |     |
|--------|---------|--------|-----|
| 議事録署名人 | 吉 永 和 正 | 議事録署名人 | 岡 武 |
| 議事録署名人 | 伊 藤 裕 成 |        |     |

続いて議案の審議に入った。

### 1. 議事の経過の概要及び議案別議決の結果 報告事項 令和元年度活動報告

岡事務局長は当期（自令和元年9月1日至令和2年8月31日）における事業状況を事業報告書および事業報告書別紙を提出し、災害救助犬事業・セラピードッグ事業についてはそれぞれの事業部責任者より、動物福祉事業及び佐賀支部については岡事務局長より活動の報告を説明した。

鵜飼監事・伊藤副理事長より各事業責任者への質問があり、各事業責任者より説明がなされた。質疑応答の詳細は下記の通りである：

#### ① 鵜飼監事：オンラインドッグセラピーは直に犬に触れることができないが、効果は見込めるのか？

→ 実施計画は行っているのだが諸事情により延期となっている。12月に実施の予定。現時点では職員も訪問先のスタッフも効果についてはわからないが、オンラインでしかできないことを行っていきたい。

#### ② 鵜飼監事：ペット連れの被災者の方々はどのようにして日本レスキュー協会のサービスを受けることが出来るのか？どんな物資を提供したのか？被災者のニーズと提供できるものとのマッチングはどのようにして行うのか？

→ 避難所へ赴き聞き取り調査を行ったり、行政と繋がりを作り行政より

連絡をもらう。また、連携しているネットワークを通じて情報を得る。物資については、企業から頂いた人間用のおむつやペットフードなど。熊本のJCより情報を提供してもらい、ニーズの確認を行った。

#### ③ 鵜飼監事：アジア内で災害救助犬を育成しているところはあるのか？

→ 全くないというところは聞いている。韓国で救助犬を育成している人が日本にテレストを受けに来たこともある。中国や台湾でも育成していると聞いたことがある。

#### ④ 鵜飼監事：新規のセラピー犬の派遣先はあるのか？

→ 今年3月までは新規派遣先が7件あった。

#### ⑤ 伊藤副理事長：以前は東京方面へのセラピー訪問を行っていたと記憶しているが、現状は地方への訪問などは行っているのか？

→ 今までは東日本大震災関係の慰問と併せて行っていたが、コロナの影響で派遣は出来ていない。

#### ⑥ 伊藤副理事長：海外へのレスキュー事業は今後も展開するのか？

→ 海外での対応はしないという方針はないが、国によっては受け入れられない場合がある。米国や欧州は体制が出来ている。海外に出動できる体制（救助犬の身体検査など）は整えている。（理事長）海外派遣を止める予定はない。

#### ⑦ 伊藤副理事長：犬や猫の保護依頼が10数件あった。副理事長個人として保護活動を行った。現状動物福祉の専任がいない状態なので、専任を置いてほしい。

→ (岡) 収支の中でどれだけ人員が割けるか。キャパを超えた活動は出来ない。縮小していない。（理事長）災害時の動物福祉にウエイトを置くということが日本レスキュー協会の使命だと考える。

#### 第1号議案 令和元年度収支決算の承認に関する件

議長は下記の書類を提出し岡事務局長より説明があり理事会で承認された旨を報告してその承認を求めたところ、総会はこれを承認可決した。

1. 活動決算書
2. 貸借対照表
3. 財産目録
4. 監査報告書

第2号議案 令和2年度事業計画及び収支予算の承認に関する件

議長は、令和2年度の事業計画案及びそれに伴う収支予算案を提出し、岡事務局長より説明があり理事会で承認された旨を報告し承認を求めたところ、総会はこれを承認可決した。

鵜飼理事・伊藤副理事長より各事業責任者への質問があり、各事業責任者より説明がなされた。質疑応答の詳細は下記の通りである：

① 鵜飼監事：セラピードッグハウスのクラウドファンディングの状況が厳しそうだが、達成しなかった場合はどうするのか？ 規模を縮小して実施するのか？  
源資はどうするのか？

→ 計画通りに実施したい。達成しなかった場合、助成金の獲得やセラピー訪問の回数を増やして資金を集めたい。一度に改修するのではなく順番に改修することも考えている。

(岡) 基金を立ち上げて行くことも考えている。クラウドファンディングが達成できなかった場合のことをセラピー事業内で考え、理事に説明できるようにする。

① 伊藤副理事長：災害救助犬事業は、以前のように五団体での合同練習を行わないのか？ 地方の団体と連携を図ることは大事なのではないか？

→ 五団体との活動は現状特には行っていない。つながりを拒否しているわけではなく、埼玉で行われている協働型訓練や事業には参加している。今後五団体での連携がどれくらい密になっていくかという見通しについては、他団体が遠方の為連絡を頻繁に取れないこともあり、現状ではあまり期待できるものではない。

(岡) 実際の災害現場で五団体が出動していることがほぼなく、形骸化しているのが現状。実際に出動している団体との連携の方が大事になっている。

第3号議案 その他の事項に関する件

議長は次の案件について岡事務局長より説明がある旨を述べ審議に入った。

(1) 規定類の見直しについて

岡事務局長は、別紙「規定類の見直し」を元にその経緯と詳細を説明し、見直しや策定への承認を求めたところ満場一致で承認可決した。見直しや策定された規定については令和2年11月21日より施行する。

(2) 定款の見直し・変更について

岡事務局長より、定款の見直しと変更の必要がある旨の説明がなされた。後日社員総会を開催し協議を行うことを求め、異議は出されなかった。

以上をもって同議案全部の審議を終了したので、議長は閉会を宣し19時25分散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において次に記名押印する。

令和2年11月21日

特定非営利活動法人 日本レスキュー協会

社員総会において

議長 吉 永 和 正



議事録署名人 伊 藤 裕 成



同 岡 武

